

PRESS RELEASE

山口情報芸術センター(YCAM) presents

■ sound tectonics #1 エレクトロニカ・サウンド／ライブ&インスタレーション

sound tectonics #1. electronica live + sound installation

3471 KINOKUNIWA 3-1313 ELECTRONICA LAB

Taylor Deupree + Christopher Willits
テイラー・デュプリー + クリストファー・ウィリッツ

ニューヨーク、ブルックリンのDDEレーベル(12K、LINE/HAPPY)主宰のテイラー・デュプリーと、サンフランシスコにベースとするクリストファー・ウィリッツの2人はデュオとして YCAM、エレクトロニカ・サウンド・ラボ・フェスティバル(国際電子音楽祭)の共同主催者として、テイラー・デュプリーは、グラフィックデザイナー、写真家として、あつめる芸術メディアに統一視点を渡過させていく独特のアーティスト、キターのDSPサウンドによるクリストファー・ウィリッツの存在感のライブです。

エレクトロニカ・サウンド・ライブ sound tectonics #1
2004年6月26日(土) 19:30開場/20:00開演
山口情報芸術センター スタジオA

【出演】テイラー・デュプリー・クリストファー・ウィリッツ・four color (keichi sugimoto)
【料金】全席自由 前席 ¥1500、二席 ¥1000、三席 ¥500
当日 ¥1800 ※当日は当日の発表料が別途あり
【YCAMチケット予約電話】083-920-6111(10:00~19:00 休日・夜間)

sound tectonics #1. electronica live + sound installation

ELECTRONICA SOUND INSTALLATION

Taylor Deupree + Christopher Willits
テイラー・デュプリー + クリストファー・ウィリッツ

テイラー・クリストファーのコラボレーションによる、YCAM会場を越えてのユニークなサウンド・インスタレーションを公開します。繊細なアンビエントサウンドが実現する、未知の音響空間が広がります。

エレクトロニカ・サウンド・インストール sound tectonics #1
2004年6月26日~6月30日
山口情報芸術センター 中庭A, B(要申込)
【サウンドデザイン】テイラー・デュプリー + クリストファー・ウィリッツ
【システム設計協力】YCAM InterLab 【料金】入場無料

【主催】財団法人山口県文化振興財団 【協力】eubic music/saudside life
【企画制作】山口情報芸術センター
〒753-0075 山口市中瀬野7-7
TEL:083-901-2222 e-mail: info@ycam.jp http://www.ycam.jp/

サウンドアーティスト：テイラー・デュプリー+クリストファー・ウィリッツ

YCAM では、来る 6 月 26 日に、アメリカのエレクトロニカ・サウンド(※音響派とよばれる DSP によるサウンドをコンピュータ・ラップトップによってパフォーマンスする電子音響サウンド)を代表するアーティスト、テイラー・デュプリーとクリストファー・ウィリッツを YCAM に招き、それぞれのソロと 2 人のデュオライブ(コラボレーション)によるコンサートを開催します。

同時に、彼らのコラボレーションによるサウンドデザインによって、YCAM の特徴である天井高のある総ガラス張りの館内中庭 A、B を使っての、ユニークなサウンド・インスタレーションを同時に公開します。(※1) これは、この空間構造のための独自のサウンドシステム(設計協力: YCAM InterLab)を考案し、彼らのオリジナルで最新のアンビエントサウンドをインストールするというもので、繊細で安らぎに充ちたサウンドが、ふだん聞くことのできない音響空

間に共鳴する作品となります。

*コンサートとインスタレーションが同時に開催されるのは、今回の来日で YCAM のみとなります。

(※1) YCAM では、冬期を除く 3 月から 11 月にかけて、館内にある中庭を用いて、場の特性を活かしたサウンド・インスタレーションやライブコンサートをてがけていきます。天井がなく、ガラスに囲われ、緑溢れる開放的な中庭は、好天の日は風を感じながらカフェのデザートを食べたり、降り注ぐ自然の光の中で読書をしたり、リラックスして過ごしていただける公共空間です。今回の展覧会は、このような空間を利用し、アーティストの新たな創作環境として、またアーティストの表現に触れより多様な体験や表現の可能性を開いていく「場」としての中庭を提案していきます。

ニューヨーク、ブルックリンを拠点に展開する CD レーベル「12K」「LINE」「HAPPY」を主催するテイラー・デュプリーは、この自身のレーベルで、ミニマルかつ微弱なエレクトロニカ・サウンドの領域を、アーティストックなコンセプトアリズムから、リズムックかつダンスブルな幅広いなレベルにまで浸透させ、デジタルサウンド表現に新しいスタイルを切り開きました。ミュージシャンとしてのデュプリーの活動は、ソロパフォーマンスからコラボレーションまで広域な形に渡っています。また優れたグラフィック・デザイナー、写真家として、レーベルデザインを自ら手掛けており、あらゆる表現メディアに統一的ビジョンを浸透させていく 21 世紀スタイルの期待のアーティストといえるでしょう。

サンフランシスコ在住で、映像や音響学の教鞭を取る講師としての顔も持つクリストファー・ウィリッツは、ギターを音源にしたハーモニックな DSP サウンドを特徴とするミュージシャン／ミクスドメディアアーティストで、今回が待望の初来日となります。

*ライブコンサートには、東京から minamo、fonica としても活動する杉本佳一によるソロユニット four color が参加します。

<アーティストプロフィール>

テイラー・デュプリー (Taylor Deupree)

1971 年生まれ。ニューヨーク市ブルックリン在住。サウンドアーティスト、グラフィックデザイナー、写真家。1997 年 1 月 1 日、サウンド・テクノロジーの最先端を探究し、アメリカの音楽レーベルに新たな水準のデザインコンシャスネスをもたらすミニマル・デジタル音楽レーベル「12k」を設立。2000 年 9 月、リチャード・シャルティエとともに「12k」のサブレーベル「LINE」を設立。ウルトラ・ミニマルなデジタル・サウンドと音、沈黙、聞く行為の関係を探究する。また 2002 年 1 月、「12k」設立 5 周年を記念し、世界中のアーティストの作品を紹介する MP3 のオンラインシリーズ term. を開設。完全にデジタル・ドメインの中にだけ存在する純粋なデータと、映像を欠いた音情報を再現する。リトルネッルロ／ミル・プラトー (ベルギー)、ラスター・ノトン (ドイツ)、サブ・ローザ (ベルギー)、フェルト (アイルランド)、Audio.NL (オランダ) などのレーベルからも作品を発表。加えて、インスティンクト・レコード、カイピリーニャ・ミュージック、プラスチック・シティ (アメリカ)、ディスク B (ドイツ)、ダム (フィンランド) などとも協働している。デュプリーはプロトタイプ 909、SETI などの音楽プロジェクトで高い評価を得、多くの録音、豊富なディスクグラフィックがある。さらに彼のデザインワークは世界中の多数のレコード・レーベルに使用され、日本やイギリスのデザイン・ブックで紹介されている。現在は、12k やソロ作品以外にも、サウンド・アーティストたちとのネットワークや建築、写真、インテリア・デザインに対する彼の情熱から影響を受けている小さな音の実験の推進に力を注ぐ。

クリストファー・ウィリッツ (Christopher Willits)

1979 年生まれサンフランシスコ在住。ミュージシャン、マルチメディアアーティスト、サウンドエンジニア。ミルズ大学でエレクトロニックミュージックとレコーディングメディアを学ぶ。ウィリッツの作品は生のギター演奏+コンピューターによるパフォーマンスとレコーディング、インタラクティブな音環境、そして映像+音響作品といった多様な表現形式をとる。2002 年、『Folding, and the Tea』をレーベル「12k」から発表。世界的に注目を集めたこの作品はリリース 2 ヶ月後に世界中で完売となる。「完璧かつ繊細で感動的なレコードである」(「Chronic Art」誌、フランス)と評され、高い評価を得る。現在、第 2 版が発売中。日本茶、ローラースケート、料理、植物といった多彩な趣味をもつ彼は、また熱心な教育者でもあり、サンフランシスコ・アート・インスティテュート、ヴィスタ・カレッジ、ベイエリアビデオ連合 (B A V C) などでサウンドデザインや電子音楽を教えている。

<概要>

■エレクトロニカ・サウンド／ライヴ

日時：2004 年 6 月 26 日(土) 19:30 開場／20:00 開演

会場：山口情報芸術センター スタジオ A

料金：全席自由

前売り 1500 円

エニ－会員 (前売りのみ) 1300 円

当日 1800 円 ※当日券は会員割引の対象外となります

出演：テイラー・デュプリー+クリストファー・ウィリッツ

+ four color (keiichi sugimoto)

■ エレクトロニカ・サウンド／インスタレーション

期間：2004 年 6 月 26 日～9 月 30 日 火曜休館 (祝日の場合は翌日)

会場：山口情報芸術センター 中庭 A、B (ホワイエ両脇) ※雨天時は停止

料金：入場無料

サウンドデザイン：テイラー・デュプリー+クリストファー・ウィリッツ

システム設計協力：YCAM InterLab

キュレート：阿部一直 (YCAM)

主催：財団法人山口市文化振興財団

制作：山口情報芸術センター

協力：cubic music、saudade life

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

JR 新山口駅から

- ・ JR 山口線湯田温泉駅下車、徒歩 20 分／タクシー5 分
- ・ JR 山口線山口駅下車、徒歩 20 分／バス 10 分(中園町か済生会病院前下車)／タクシー5 分
- ・ 防長バスで 25 分、中園町下車

自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東 IC から 30 分
- ・ 九州・中国自動車道で小郡 IC から 15 分

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター（広報担当：小滝）

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2212

E-MAIL: info@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>

〒753-0075 山口市中園町 7-7